

# 新聞報道で振り返る

## 飯田保健福祉事務所の5年間

平成30年4月～令和5年3月

(2018年4月～2023年3月)

### 飯田保健所開設75周年

記念誌  
発行 未来へのマイルストーン

飯田市追手町の県誌を発行しており、飯田保健所（松岡裕之所長）が31日付発行の「開設75周年記念誌」を作成した。25年前に50周年記念誌を発行して、

松岡所長は「過去25年を振り返ってその歩みを記録し、これからの25年、その先の未来に向けたマイルストーン

ルストーンを残しておきたい」としている。故人の名前もある。

飯田保健所の発足日については「1943（昭和18年）3月31日」「1944（昭和19年）2月7日」「1944（昭和19年）3月22日」の3つの異なった記述がある。いずれにしても太平洋戦争中であることには変わりなく、医師会などよりかなり遅れて発足している。

A4判、59ページ。50周年以後、25年間のあゆみ、データ・グラフでみる移り変わり、職員の思い出・所感（寄稿集）、アルバム、付録（PDFデータ）などを収録している。歴代所長名簿には、南信州新聞社の社長を務めた西沢寛、後藤光正両氏（ともに

南信州新聞

2018年3月29日（木）

歴代の事業概況書の冒頭には「1943（昭和18年）3月31日飯田保健所開設」と記載されている。保健所法が1937年に制定され、徐々に全国に保健所が広がるようになってきた。県内では上田、岡谷に続いて3番目に飯田保健所が発足している。

保健所法は1947年に地域保健法へと移行し、従来の保健所業務の多くは市町村の事業として移管された。2000年に

は介護保険制度がスタートし、医療と介護とは異なるシステムで管理されるようになった。介護は福祉分野の一部となり、福祉と保健とは密接な関係にあるため、長野県では地方事務所福祉課と保健所とを統合して2009年度から保健福祉事務所として機能するようになった。1993年頃は感染症や食品衛生、母子保健、成人病対策が中心だったが、生活習慣病予防、精神病対応、難病支援、動物愛護、高齢者介護などに相当の重点が加わってきた。また、2003年度から廃棄物・下水道業務は環境部へと移管

され、検査課も8年度をもって廃止となり、業務の再編が進んだ。ここ10年は大規模災害や新興感染症を想定した医療救護計画の策定・訓練が重点的に実施され、保健所・保健福祉事務所の業務は少しずつ変化してきている。



開設75周年記念誌を作成した飯田保健所の松岡所長（第19代）

下條村に建設  
申だった子育て支援  
センター「すくすく」  
が完成し、10日、  
開式を聞いた。保  
育園就園前の子育て  
相談や交流の場とな  
る「すくすく広場」  
の完成を喜び、金田  
慶治村長は「決して  
お少子化に悩まぬか  
かかれは」と期待を  
寄せた。

同センターは放課  
後児童クラブの拠点  
施設「ヤングコミュニ  
ティハウス」構に建設  
し、木造平屋建ての  
延べ床面積約2,000

平方メートル。エコーや  
床暖房を完備し、子  
どもたちの手が触れ  
る壁には地産産物の  
壁紙を使用した。ま  
だ、これまで

平方メートル。エコーや  
床暖房を完備し、子  
どもたちの手が触れ  
る壁には地産産物の  
壁紙を使用した。ま  
だ、これまで

均で約10人が利用  
する子どもたちの  
受け入れに対応す  
る。また、これまで

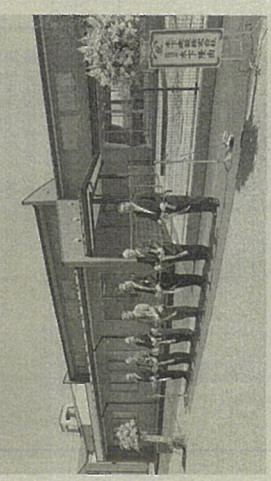
均で約10人が利用  
する子どもたちの  
受け入れに対応す  
る。また、これまで

を移転し、遊戯室  
や相談室などの整  
備促進を図った。  
村によると、子育て  
支援員を配置し、

を移転し、遊戯室  
や相談室などの整  
備促進を図った。  
村によると、子育て  
支援員を配置し、

を見込む。  
総事業費は国の  
交付金も含め約8  
200万円。この  
うち、一般財源は

を見込む。  
総事業費は国の  
交付金も含め約8  
200万円。この  
うち、一般財源は



下條村の子育て支援センター「すくすく」

の作品も各の村内  
から88件が寄せら  
れ、決定した。

武典吉雄と金田  
村長は「何となく  
は人ごみの村方  
針の穂底は教育。  
成果がよくなるま  
力を取り組む」と  
い、串原豊彦教育  
長は「少子化でも  
児童クラブの利用  
数は増加してい  
る。この拠点を有  
効活用して、正し  
もたらが子育て  
つよさを願ってい  
る」と思いを述べ  
た。

交流の輪を拡大  
61人が学習開始  
県シニア大学伊予部  
県シニア大学伊予部の  
入学式が1日、飯田市の  
飯田合同女子大学開かれ、第  
四十四期生として六十一人  
が、生涯学習と交流の輪を  
拡大する。生涯学習の学習の  
スタートを切った。

多くの先輩を遇え、中  
松岡裕之学部長(飯田民権  
福祉事務所長)が「人生百  
年時代、学びへの意欲はあ  
られた皆さんが、健康と楽  
しく、交流の輪を広げなが  
ら、活がある地域づくり  
に力を注ぎ、期待していま  
す」と式辞を述べた。

阿部守一知事らのスピー  
チが披露された後、入学  
生を代表して平谷村の西川  
人吉さん(一)が「とても  
まはは感銘を、多くの仲  
間に触れ合えることができ  
る環境にあることに感謝し  
今後の人生に学び学習に  
励みたい」とお礼の詞を  
述べた。

入学生全員に記念贈りし  
た。

入学式が1日、飯田市の  
飯田合同女子大学開かれ、第  
四十四期生として六十一人  
が、生涯学習と交流の輪を  
拡大する。生涯学習の学習の  
スタートを切った。

多くの先輩を遇え、中  
松岡裕之学部長(飯田民権  
福祉事務所長)が「人生百  
年時代、学びへの意欲はあ  
られた皆さんが、健康と楽  
しく、交流の輪を広げなが  
ら、活がある地域づくり  
に力を注ぎ、期待していま  
す」と式辞を述べた。

阿部守一知事らのスピー  
チが披露された後、入学  
生を代表して平谷村の西川  
人吉さん(一)が「とても  
まはは感銘を、多くの仲  
間に触れ合えることができ  
る環境にあることに感謝し  
今後の人生に学び学習に  
励みたい」とお礼の詞を  
述べた。

# 子育てに地域の温かい目を

高森町 拠点施設が完成 来月開業



高森町の女性活躍する  
子育て拠点施設「あつたか  
てらす」が完成し、5月1日、  
開業式があった。子育て支援  
センターや保育園などが  
機能移転し、生活拠点を  
に活用できるコトナツタ  
スペースも整備。5月1日は  
一般公開し、6月からオー  
プンする。

施設は同町山吹の女性職  
導官に建ち、丸山公園や  
六ヶ所公園の高森テラスタ  
リニッパ(産婦人科)内に  
料)に隣接し、出産前後の  
女性を包括的にサポート。  
式典では、地域が温かい目  
で子どもたちを育む「高森  
町みんなの未来 全力応援  
宣言」をおこなった。

主任兼学部長は「公園と

完成した女性活躍と学  
育に拠点施設「あつたか  
てらす」高森町山吹

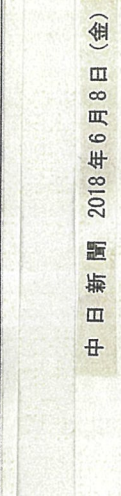
一体化した遊びや学びの  
ベース。子育て支援の充実  
に「取り組むたい」とも  
いっ。施設内を貫通した  
同施設建設委員の吉田さん  
は「立派な建物  
ができたので、宣言の中身  
を大切に、活用していし  
て期待を寄せた。

施設は保育園3棟建て、延  
べ床面積約五百五平方メ  
ートルや、健診室もあ  
る。建設費は約一億八千九  
百万円。5月中旬に指定管理  
者を募集し、9月からは指  
定管理者が運営する予定。  
(石川孝子)

# 保健衛生事業に貢献 副院長が県知事表彰

飯田病院

県内の保健衛生事業の普  
及促進などに貢献したとし  
て、飯田病院(飯田市大  
通)の小宮山徳太郎副院長  
(69)「同市羽鳥町」が、保  
健衛生の精神保健分野で県  
知事表彰を受けた。七日に  
同病院で表彰式で、飯田  
市保健所の松岡裕之  
所長が表彰状を手渡した。



小宮山さんは信州大医学  
部卒。精神科医として信大  
医学部精神医学教室、東京  
都の国立精神・神経セン  
ター(現国立精神・神経医療  
研究センター)などでの勤  
務を経て、二〇〇五年から  
飯田病院の副院長に。精神  
疾患を抱える患者の権利擁  
護に努め、ほか、県認知症  
施策検討委員として県保健  
衛生業務にも携わる。

小宮山さんは「患者さん  
と家族の言葉を正しく聞  
き、多くの情報を集めるこ  
とを大切にきた。今後も  
できる限り患者さんよが  
くした」。松岡所長は、  
飯田病院が飯田地域で唯一  
の精神科病院として上で  
「(小宮山さん) 飯田地  
域の精神疾患を抱える方  
の思いに寄り添ってきた。  
県知事表彰は、この地区  
費や真意が十分野があ  
る。精神保健分野は、小宮  
山さんを中心として人が愛  
した。

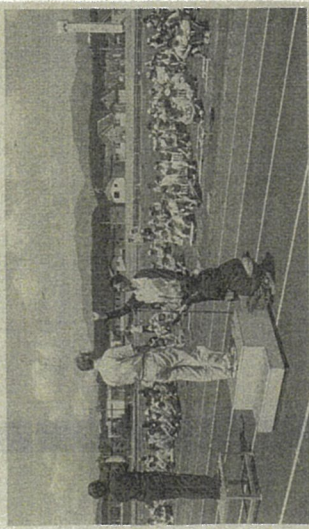
多くの先輩を遇え、中  
松岡裕之学部長(飯田民権  
福祉事務所長)が「人生百  
年時代、学びへの意欲はあ  
られた皆さんが、健康と楽  
しく、交流の輪を広げなが  
ら、活がある地域づくり  
に力を注ぎ、期待していま  
す」と式辞を述べた。

阿部守一知事らのスピー  
チが披露された後、入学  
生を代表して平谷村の西川  
人吉さん(一)が「とても  
まはは感銘を、多くの仲  
間に触れ合えることができ  
る環境にあることに感謝し  
今後の人生に学び学習に  
励みたい」とお礼の詞を  
述べた。

# スポーツの楽しさを満喫

## 飯伊 障害者の大会に350人出場

「第30回飯伊地区障害がい者スポーツ大会」が3日、飯田市の松原町の同市総合運動場を主会場に開かれた。約350人が参加し、陸上競技や卓球、団体種目を競った。



開会式での選手宣誓

「スポーツの楽しさを体験する」とも、地域住民の障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加に寄与することを旨として1980年(昭和55)年から開

催の聖火リレーに続き、同運動場で開会式を開いた。大会長の松岡浩之(飯田保健福祉事務所)は「百回の成果を自分の力を最大限に発揮し、来いみなから交流の輪を広げ

てこそエール。選手を代表し、松川町の細江敏裕さん(65)が宣誓を行い、言葉を尽くすよう全力を出すと決意を述べた。飯伊地区にある障がい者施設の利用者らが選手として出場

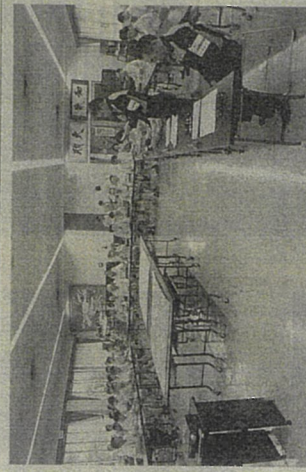
3会場に分かれてトランプ競技の表技やフットボール競技の立陣、投てき卓球などを障がい者区分別に行い、熱戦を繰り広げた。飯田風越、下伊那農業、松川、飯田女子高校生をはじめ、62人のボランティアも協力。選手、観客、役員、運営委員などを合わせると総勢は約700人を超えた。

# 迅速な初動対応を確認

## 合庁職員が非常参集訓練

飯田市豊手町の真し、飯田市内を震度5強の揺れを観測したとの想定で、午前6時に非常参集訓練が実施された。庁内に勤務する職員約300人が参加し、初動の遅れや不備が懸念される勤務時間外の早朝に行い、美機を通じて迅速な体制づくりの行程を確認した。県東部を震源とする大規模地震が発生

し、飯田市内を震度5強の揺れを観測したとの想定で、午前6時に非常参集訓練が実施された。庁内に勤務する職員約300人が参加し、初動の遅れや不備が懸念される勤務時間外の早朝に行い、美機を通じて迅速な体制づくりの行程を確認した。県東部を震源とする大規模地震が発生



訓練で実施した地方部会議

警訓練を行い、同7時から横成り本部南信州地方部の班による地方部会議

を開いた。各班は新しい試みとして付与された「〇〇役場が半壊している」「〇〇病院に損壊がみられる」など具体的な被害状況を踏まえ、対応を検討して報告。班長らは、現地確認や関係機関との連携による対応などを挙げて報告した。講話で土屋智朗地方部長は「事前情報がない被災状況に対する対応時の難しさを再確認できた」と強調。非常時に優先すべき業務や関係機関との連携について「日頃から確認するなどの備えに取り組み」と呼び掛けた。飯田信行では既に市内職員を対象とした総合訓練を計画。県防災情報システムを利用した情報共有を軸に訓練する。

# ルビコン電子に厚労相感謝状

## 献血協力の5団体表彰

県飯田保健福祉事務所(松岡浩之所長)は25日、献血運動の推進に協力している松川町のルビコン電子に厚生労働大臣感謝状、いすゞ自動車市中部電力飯田電力センター、TDR庄内飯田工場に献血推進協議会会長表彰

を授与した。ルビコン電子は4年間にわたり、積極的に献血推進に取り組んでいる。年に1度ずつ移動献血車を運来し、社員らが協力している。感謝状を授与された庄内飯田工場は、自身

から献血の重要性を伝えているといい、「継続してきたことが評価された」とも誇ら。今後も誇れることと協力したいと語った。昨年度は26人が協力した。中電飯田電力センターは年に回、移



感謝状や表彰状を受けた企業・団体の代表ら

動献血車を受け入れて広く従業員に協力を呼び掛けている。TDR庄内飯田工場は、事業所全体で献血の重要性を認識し、協力している点が評価された。他にいすゞ自動車市のいすゞ若手経営者の会、松林支部と、飯田市立病院が、飯田上伊那地区献血推進協議会長表彰を受けた。同所によると、昨年度の管内の献血実

績は400人以上で、00歳を合わせて3332人。協会の献血施設がないため、移動献血車による事業所の協力に頼っているという。松岡所長は「少子高齢化の進展により血液製剤を必要とする世代が増加傾向にある中、次世代を担う若年層が減少している」と指摘し、さらなる積極的な協力を呼び掛けた。



# 長年の食育活動実る

阿智の田中さん、飯田の稲垣さん表彰



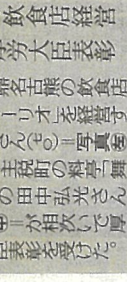
厚生大臣表彰を受けた田中さん(前列中央右)と知事表彰を受けた稲垣さん(飯田市の県飯田合同庁舎で)

阿智郡阿智の田中さん(和代さん)は四日、栄養関係功労者厚生労働大臣表彰が伝達された。田中さんは一九七二昭和四十七年に村長生活改善推進協議会に入り、飯伊支部副会長と歴任。十五年ほど前には「食事プラスカイロ(南信州編)」の制作

に機わり、郷土食と食文化の伝承に積極的に取り組むとともに、村の健康増進・食育計画の策定にも関わってきた。これらの功績で、十二日に長野市で開いた県食生活改善推進大会で受けた保健衛生(栄養改善)知事表彰を報告。松岡所長は「食育の活動は、日々新たな情報報が加わり、改善に終わりはない。今後も地域に食生活の大切さを広めてほしい」と激励していた。(須田唯仁)

# 飯田で飲食店経営 2人厚労大臣表彰

飯田市県名古橋の飲食店「アットオオオオ」を経営する木下領さんらに厚労大臣表彰



厚生大臣表彰を受けた木下領さん(左)と稲垣真由美さん(右)が、飯田市の県飯田合同庁舎で、知事表彰を受けた。

しての功績が認められ「食品衛生功労者表彰」を受けた。田中さんは信じて調理師として従事。県調理師会が委嘱する調理技能指導員として会員の技術や資質向上に尽力しており、

各調理師会では地域への調理技術や食文化、食品衛生の普及啓発に努めていることから「調理業務功労者表彰」を受けた。二人が、国際基準に基づいた食品衛生管理手法「HACCP(Hアットケイシーシー)」の導入や人手不足を克服する課題などに触れながら「今回の受賞は次世代に引き継ぐための励みにもなる」と喜びを語る。松岡所長は「今後も食品衛生に気を配り、食の大切さを伝えてほしい」と激励した。

# 創作的欲 いつまでも

飯田ねんりんピックの入賞者表彰



昨年九月に佐久市で開いた「2018ねんりんピック長野県高齢者作品展」で入賞した飯田地域の県飯田合同庁舎二階ホール

昨年九月に佐久市で開いた「2018ねんりんピック長野県高齢者作品展」で入賞した飯田地域の県飯田合同庁舎二階ホール

に展示されている。同作品展には日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の六部門に、全県で二百八十八点、飯田地域からは十二点の応募があった。このうち書の部門で、松井廣生さんの「阿智村駒場の「運送」須 小野小四郎」が知事賞、森本重彦さんの「飯田市松尾新井」の「冠野村 白葉天」が真社会福祉協議会賞、金山亮さんの「同市龍江」の「読書愛」が知事賞を受けた。また写真の部で木下和彦さんの「同市北方」の「よま見(ぼいぞ)」が真社会福祉協議会賞、山崎さんら「同市真淵町」の「二十年の自分」が奨励賞に輝いた。表彰状を贈った松岡所長は、飯田県健康推進事務所長は、葛飾北条菜菜子(「芸術を高めを目指す」)と芸術関係ない。今後とも頑張ってください」と激励した。記念撮影に臨んだ左から、それをこれの作品を説明しながら「受賞を機に、また筆を持たないの気がかわいたよ」と喜ぶを語っていた。(須田唯仁)

# 「知識を地域の発展に」

飯田でシニア大学飯伊支部卒業式

県シニア大学飯伊支部の卒業式が二十日、飯田市の県飯田合同庁舎で開かれた。第二十九期生として二年間の課程を終えた六十八人が、卒業証書と修業賞(五十八人)を受けた。多くの来賓らが祝辞を贈った。学部長の松岡裕之飯田健康推進事務所長は「二年間の生き生きとした学習や社会参加活動の成果を、今後は地域に還元して自分に発揮してほしい」と式辞を述べた。県全体の学長である阿部守一理事のビデオメッセージもあり、卒業生を代表して清水多美恵さん(「飯田車中劇本」が「人生百年時



活動で卒業した松岡節典さんが祝辞を述べた。左から、飯田市の県飯田合同庁舎

代は引かれ、われわれはまさに青春時代。シニア大で得た知識や経験を地域発









# 訪問看護ステーション開設

## 「まぐら」24時間対応で在宅療養支援と統合

阿南病院は、1日、指定訪問看護事業を提供する「阿南病院訪問看護ステーションまぐら」を開設した。下伊那郡野村町でつくる南信州総合事務組合が、2017年度から運営してきた「訪問看護ステーションまぐら」と、9年に県看護協会

を統合。南信州(松本市)の訪問看護ステーションとして開設。県の指定を受けて時間外対応も行う。2016年度に同協会が撤退するまで、地域の在宅療養を支援する「まぐら」の役割は重要で、同組合が運

(松本市)の訪問看護ステーションとして開設。県の指定を受けて時間外対応も行う。2016年度に同協会が撤退するまで、地域の在宅療養を支援する「まぐら」の役割は重要で、同組合が運

委託を継ぎ、5年間対応ではないものの、病院を利用する患者を対象とした訪問看護事業を行う同病院に運営の統合を協議した。

会館館長(右)は「阿南病院と統合したことによって、まぐらの利用者が安心して利用できることを期待している。利



阿南病院内に開設した訪問看護ステーション

# いち早く感染確認を

## 5月外来・検査センター開設

新型コロナウイルスの検査体制を拡充するため、飯田市は、地域外来・検査センター(仮称)を早稲はまに市内に開設する。いち早く検査することで住民の不安を払しょくし、車に乗ったまま検体採取が受けられるドライブ方式とする予定で、その日のうちに結果が分かる検査法を採用する。

同センターは市がひととして設置し、飯田市の医療機関が派遣する医師らを受け、伊地区包摂医療協議会とともに運営。医療士は地域内(飯田、下伊那)では現

年帰国者・接種者の負が軽減される。外来がある1病院のみが検体採取の依頼を受ける。当面は約4時間で結果が出るLAMP(ラップ)法を使い、1日1件まで対応。それを上回る場合は民間検査機関に検査を依頼する。スタート時は医師1人が検体採取、事務



会場でまいまを語る飯野市長(市役所で)

務を行う人員をセンターに配置する予定。受診・検査の対象は飯野の住民としている。

県は飯田圏ごとに1〜3カ所の同センターを所管し、設置ける方針で、運営は各地域の医師会や市町村に委託する。

飯田医師会は23日の理事会で医師の派遣に同意。飯田地区包摂医療協議会と市は3日に協働で運営する方針を確認した。

同日開いた会場で、飯野光朗市長は「いち早く検査する者の増加も視野に、体制を構築することで住民の不安を払しょくし、地域医療をまぐら、感染者の発生、リスクを低減させるといった感染拡大を防ぐ。感染

# 飯伊の人口15万4591人

## 県の推計 前年同期比1781人減、世帯数は増加

4月1日現在の飯田下伊那12市町村の推計人口は、前年同期から1781人減り、15万4591人となっていることが、毎日人口変動調査に基づく県のまとめで分かった。世帯数は89増の1万8314世帯。豊丘村を除く11市町村で人口が減少している。

2015年国勢調査の人口は1.14%の増、17万8000人を割り、以降も1%の増を維持している。他の減少数が1000人を超えた自治体は155人減の松川町、127人減の阿南町、105人減の南

2.40%減の養老村が続いている。世帯数は1781人の増。飯田市の36増の豊丘村など6市町村で増加した。減少が自主市町村では高岡町で57減、飯伊の総人口は18年4月の調査で15万人の大会を過ぎてい

市町村名	世帯数(世帯)	2020年4月1日現在		対前年人口増減(人)
		人口総数(人)	人口増減(人)	
飯田市	38,084	97,346	46,759	-1,103
松川町	4,441	12,564	6,042	-155
高森町	4,389	12,695	6,103	-51
阿南町	1,506	4,406	2,131	-121
阿平町	2,169	6,112	2,923	-105
根羽村	190	388	198	-17
根木村	387	848	409	-49
下流木村	1,154	3,595	1,745	-26
天龍寺村	241	495	224	-40
養老村	557	1,156	543	-38
豊丘村	598	1,545	727	67
豊郷村	2,015	6,029	2,926	14
豊丘村	2,141	6,452	3,256	489
大飯町	423	949	460	-6
飯伊計	58,314	154,591	74,386	-1,781
飯伊計	829,204	2,037,622	994,683	-14,411

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、45年の飯伊人口は16年比で28.5%減の12万5917人。一方、国の「地方創生」に絡み、飯伊市町村が打ち出した「人口ビジョン」では、40年計15万1438人とし、減少の緩和を掲げている。

同現在の県内人口の推計は2037年68万2137人、2042年65万9199人減った。

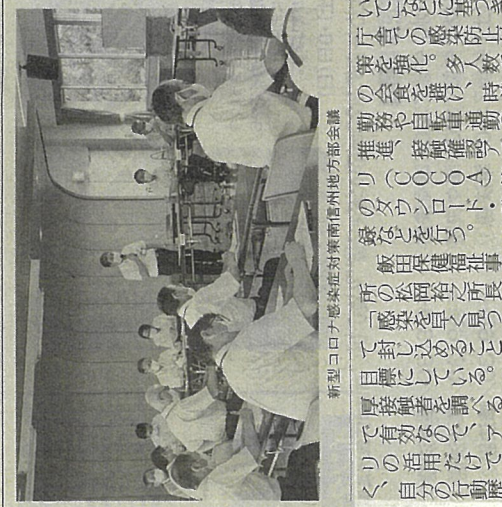
# 感染状況や予防対策確認

## 南信州 コロナ対策地方部会議

長野県南信州地域振興局は30日、飯田田舎同庁舎で第3回新型コロナウイルス感染症対策地方部会議を開催した。各市区町村の担当者が出席し、県内の感染状況や、県内の感染防止対策について確認した。

県内では29日、人口10万人当たりの新規感染者数が1.0人を超過。県は29日に警戒レベルを2.5を上回る場合、必要措置を講じていくとしている。

また、29日、県内では29日、人口10万人当たりの新規感染者数が1.0人を超過。県は29日に警戒レベルを2.5を上回る場合、必要措置を講じていくとしている。



新型コロナウイルス感染症対策地方部会議

直して、高齢者など重症化しやすい人は控えるよう要請。飯田田舎同庁舎の飯田市長は「感染防止対策を徹底し、重症化を防ぐことが重要」と話した。

### 合同庁舎 入口を限定

南信州地域振興局は30日、県の感染防止対策本部と連携し、他の濃厚接触者の有無などを調査している。

また、29日、県内では29日、人口10万人当たりの新規感染者数が1.0人を超過。県は29日に警戒レベルを2.5を上回る場合、必要措置を講じていくとしている。

中日新聞 2020年6月17日(水)

## 調理師で地域貢献 知事表彰

三浦さん(場)と小木さん(監)



食衛生の向上に功績があったとして、調理師の三浦さん(場)と小木さん(監)が、飯田市長から知事表彰を受けた。三浦さんは、飯田市の調理師会副会長として、地域の調理師の資質向上に尽力している。小木さんは、飯田市の調理師会副会長として、地域の調理師の資質向上に尽力している。

に勤務し、総料理長を務めた。県調理師会が委嘱する調理師技能育成員であり、多くの講習会で、調理師としての技術向上に貢献した。授けられたのは、飯田市長から「長年、地域の真文化を築き、地域貢献に尽力し、地域の発展に貢献した」として、知事表彰を受けた。

2020年5月26日(火)

## 全学部を1年間休校

### 県立シラネ 新型コロナ感染拡大防止で

県立シラネ大学は、新型コロナ感染拡大防止のため、全学部を1年間休校すると発表した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクがあり、学生の安全を確保することが困難と判断した。

県立シラネ大学は、新型コロナ感染拡大防止のため、全学部を1年間休校すると発表した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクがあり、学生の安全を確保することが困難と判断した。

## 20年にわたる飯伊医療に貢献

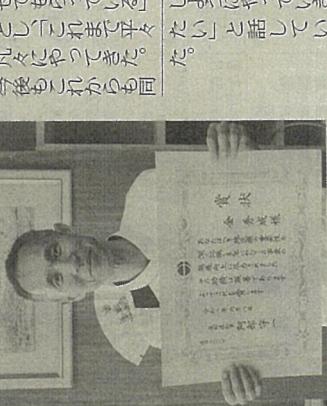
### 飯田市長に保健衛生知事表彰

飯田市長は、20年にわたる飯伊医療に貢献したとして、保健衛生知事表彰を受けた。飯田市長は、20年にわたる飯伊医療に貢献したとして、保健衛生知事表彰を受けた。

飯田市長は、20年にわたる飯伊医療に貢献したとして、保健衛生知事表彰を受けた。飯田市長は、20年にわたる飯伊医療に貢献したとして、保健衛生知事表彰を受けた。

の当直医なども務めている。松岡市長は「地域の人たちが一番最初に受診する診療所を長年におたがって支えてくださったと感謝。これからも地域のためによろしく願いたい」と述べた。

松岡市長は「地域の人たちが一番最初に受診する診療所を長年におたがって支えてくださったと感謝。これからも地域のためによろしく願いたい」と述べた。



保健衛生知事表彰を受けた飯田市長

同学部は、1年度から郷土の自然、歴史、文化などをまじらせた授業を展開し、実践的な学びを重視している。本年度は、1年度から郷土の自然、歴史、文化などをまじらせた授業を展開し、実践的な学びを重視している。

同学部は、1年度から郷土の自然、歴史、文化などをまじらせた授業を展開し、実践的な学びを重視している。本年度は、1年度から郷土の自然、歴史、文化などをまじらせた授業を展開し、実践的な学びを重視している。